

平成20年度とりまとめ概要

1. リコール検討会開催目的

自動車のリコールについて多角的な視点から議論を行うことにより課題を明らかにし、必要に応じて制度や運用の改善を検討する。

2. リコール検討会検討経緯

平成19年度に検討課題を以下の4つに整理した。

- 1) リコールに対する正しい理解の普及(課題1)
- 2) 自動車の不具合に係るユーザーへの情報提供の充実と不具合発生からリコールに至る過程の透明性の確保(課題2)
- 3) リコールに至る自動車の不具合の発生原因の分析と削減方策(課題3)
- 4) 使用過程の自動車の安全の確保及び環境保全のためにメーカーを始めとした関係者が担うべき役割の明確化(課題4)

平成19年度に主に課題1及び課題2について検討を行い、平成20年度は、残りの課題3及び課題4について検討した。

(平成20年度開催状況)

平成20年6月9日	第5回リコール検討会
平成20年11月7日	第6回リコール検討会
平成21年3月24日	第7回リコール検討会

3. 平成20年度とりまとめ概要

(1) リコールに至る自動車の不具合の発生原因の分析と削減方策(課題3)

① 近年のリコールの増加要因

メーカーアンケートや過去のリコール届出の分析等から、近年のリコールの増加の主な要因は以下の2つであると考えられる。

ア) 自動車メーカーのリコールに対する姿勢の変化

近年、自動車メーカー各社は、不具合情報と不具合現品を収集を進める等、原因究明体制を強化しており、それにより不具合の発見や原因究明が促進され、より適切にリコールが実施されるようになった。

イ) 使用実態と各種評価基準の解離

開発当時にメーカーが想定した使用環境や使用条件を超えた過酷な条件での使用がなされるようになり、リコールに至るような不具合が生じるようになった。

(過酷な条件での使用の例)

- ・ 錆環境の変化(融雪剤の散布量の増加)
- ・ 高速走行比率の増加
- ・ 使用実態の多様化(過大な力の長期間繰り返し作用等)
- ・ 車両使用の長期化

② リコールに至る不具合の削減方策

ア) 不具合の再発防止と各種評価基準の見直し

メーカーにおける不具合原因の究明体制を引き続き強化、拡充して、継続生産車における再発を防止するとともに、そこで得られた知見を新たな車両の開発に反映し、リコールに至るような不具合の発生を防止することが重要である。

イ) 長期使用車両等の不具合発生低減策の強化

重要な部品の定期交換時期を明示する、使用者が不具合発生の予兆等を認識しやすくするよう、点検・整備項目、方法を見直すとともに、使用者にそれらの情報をより分かりやすく伝えることが重要である。

(2) 使用過程の自動車の安全の確保及び環境保全のためにメーカーを始めとした関係者が担うべき役割の明確化（課題4）

現在、自動車の平均使用年数が年々長くなるなど、自動車の使用方法や保守管理方法に関してメーカーの設計時の想定とユーザーの認識にギャップが生じており、メーカーが設計時に想定していなかったような使用や保守管理（以下、「想定外の使用等」という。）が行われている状況にある。

これらの想定外の使用等による不具合の発生に対する関係者の対応のあり方について整理した。

① メーカーの役割

ア) メーカーが設計時に想定した使用方法や保守管理方法について、販売時にユーザー及び整備工場に確実に情報提供する。

イ) 既に販売した自動車について、想定外の使用等が行われており、それが不具合の発生原因となる可能性があることを認識した場合には、ユーザー及び整備工場に対して、注意喚起を行う。

ウ) 想定外の使用等による不具合が発生した場合、ア) の情報提供が適切に行われていなければ、メーカーは速やかにリコール等なんらかの措置を行う。また、ア) の情報提供が適切に行われていた場合でも、少なくともユーザー及び整備工場に対して不具合発生とその防止方法に関する注意喚起を行う。

② ユーザーの役割

メーカーや国土交通省から提供される情報を基に、適切な使用や保守管理を責任を持って行うとともに、メーカーからのリコールの通知や注意喚起に対して、適切に対応する。

③ 国の役割

ア) ユーザーによる適切な保守管理を促すとともに、市場監視を行い、必要に応じてメーカーに適切な対応を行わせる。

- イ) 指針を策定する等により、メーカーが、想定外の使用等による不具合の発生した場合の役割を適切に果たすよう促す。
- ウ) メーカーがユーザーに注意喚起を行う際の自動車登録情報の活用について、個人情報保護の観点を踏まえ検討する。

④ 整備工場及びディーラーの役割

想定外の使用等がなされていること、又は、それにより不具合が発生していることを知った時は、メーカーに通知することが必要である。